

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 高生 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

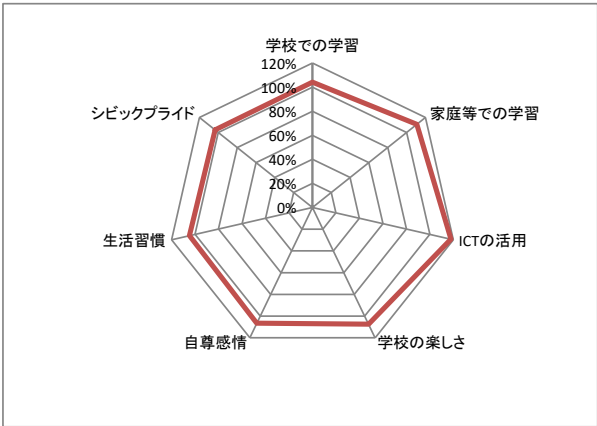
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の領域“話すこと・聞くこと”に関する問題の正答率は、全国平均・福岡県の平均を大きく上回っているものの、“知識および技能”に関する問題の正答率は、全国平均・福岡県の平均をやや下回っています。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	話し合いの中で発言する際に指し示している資料の部分を○で囲む問題が大きく平均を上回っています。	
	努力が必要な問題	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題の無回答率が平均を上回っています。	
数学	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の領域“関数・データの活用”に関する問題の正答率は、全国平均・福岡県の平均を上回っていますが、“数と式・図形”に関する問題の正答率は、全国平均・福岡県の平均をやや下回っています。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	複数の集団データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する問題が大きく平均を上回っています。	
	努力が必要な問題	筋道を立てて考え、三角形の合同を基にして証明する問題の正答率が、大きく平均を下回っています。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
・「友達関係に満足しているか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」の問いに対して、約90%の生徒が肯定的に回答している。 ・タブレット等のICT機器を活用について、自分の意見を伝える活動や友達と考えを共有したり比べる活動がやや全国平均を下回っている。今後は各教科でICT機器を積極的に取り入れた授業を推進し、生徒が協力して解決する授業、そして他者との意見交流を通して学び合う授業をつくる必要がある。 ・「朝食を毎日食べているか」「携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束を守っているか」に対する肯定的な内容が、全国平均をやや下回っている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

国語に関しては、漢字の書き取りなどの基礎的な知識を身につけることや、本文に書かれていることを理解し記述する活動を継続してまいります。数学では、数学的な用語に対する知識や理解を深めること、それを活用して筋道を立てて考え言葉で説明したり、証明したりする活動に継続して取り組んでまいります。

② 家庭生活習慣等に関する取組

基本的な生活習慣は十分に確立されていますが、遅くまで勉強に取り組むことも増えることが考えられます。栄養、睡眠を十分にとり、体調管理に今以上に気を付けるようお声かけをお願いいたします。また、携帯電話・スマートフォンの使い方については、今後も家庭と学校が連携して注意喚起をおこなっていきたいと思います。